

10校ラグビー秋は福岡開催



恒例の10校ラグビーフェスティバル春季大会が、4月26日、東京・辰巳の森で開かれました。初参加の浦和をはじめ秋田、日比谷、済々黌など16校の約100人が参加。修猷からは昭和30年卒の平島正登さんから平成15年卒の片渕裕介さんまでの10選手以上が、昭和55年卒の真砂千恵さんと昭和56年卒の橋本千佳さんの黄

色い声援を受けながら奮闘しました。初登場の昭和61年卒の前田夏洋さんの華麗なプレーも健在でした。懇親会では、名幹事と評判になった昭和62年卒の原大基さんが司会を務め、フランス帰りで力強さをみせつけた昭和51年卒の養父重紀さんがMVPの表彰を受けました。

いよいよ今秋の10校ラグビーは、初開催の福岡へ。九州の皆さん、11月29日には、さわやかスポーツ広場に大集合して、現役に負けないパワーを発揮しましょう。



▲原さん(右)から表彰されるMVPの養父さん

90周年特別会費

来年の創部90周年記念に向け、「特別会費」へのご協力をお願いすることとなりました。

目標金額は500万円。全国でご活躍の修猷館高校ラグビー部OB・OGをはじめ、卒業生のみなさま、企業・団体様などを対象に募り、現役生徒達の費用補助やトレーニング機器購入、90周年記念行事などの原資に充てさせていただきたいと存じます。

つきましては、この時期にあたり、甚だ勝手ではございますが、1口1万円で、個人は1口以上、企業・団体様には3口以上、の「特別会費」をお願いしたいと存じます。ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

■平成26年度会費の納入にご協力お願いします■

90周年特別会費、年会費とも共通の下記口座にお振り込みください。

★年会費 7,000円 (学生 3,000円、70歳以上 5,000円)

★振込先 西日本シティ銀行 西新町支店
普通 1336258 修猷館ラグビーOBクラブ

●発行 / 修猷館ラグビー部OBクラブ

事務局 / 坂本 弘 (S47卒)

〒815-0081 南区那の川1-23-30 (株)ポータル気付

携 帯 090-1362-6723

E-mail sakamoto@portal-inc.co.jp



修猷館ラグビーOBクラブ

会報 平成26年7月号

修猷館ラグビー部 公式ホームページ
URL <http://rugby-shuyukan.com/>

57年ぶりの歓喜



▲2014



▲1957

プレーが途切れると試合は終わる。6月の第67回全九州大会決勝。4日間で3試合目と経験のない連戦の中、最後の力を振り絞る。連続攻撃、佐賀工陣深くへ。楕円球はしかし、手元からこぼれた。ノーサイド。12-17。第10回大会以来の優勝こそ逃したが、福岡制覇は57年ぶり。活躍を伝え聞いた昭和32年度の藤井主将は「何とも言えない感慨がわいた」。半世紀の時空を超え、修猷ラグビーの矜持がみえた。

東福岡破り勢い



▲東福岡には29-26の快勝だった

した。しかし、修猷の闘志は衰えを知らなかった。最後まで15選手で戦い、3点差で振り切った。全九州大会に10年連続福岡代表で出場し、8連覇中だった王者をついに止め、福岡、小倉と連破し、57年ぶりに福岡県予選を制した。佐賀での全九州大会でも、鹿児島実、長崎北陽台に競り勝ち、準優勝にたどりついた。

57年前、全九州大会で3度目の優勝を飾った昭和32(1957)年度のチームも、福岡県予選の決勝で福岡工に19-0で快勝して波に乗った。当時の牧監督がOB宛の報告書でこう記している。「福岡工の優勢は万人が認めたもの。その予想はキックオフのホイッスルと共に一瞬にしてくつがえされる。キックオフの球を一気に相手ゴール前まで押し込み猛烈なルーズ、SO抜けてトライ。その間、わずか30秒」。静岡国体予選を兼ねた全九州大会でも海星、鳥栖工とともに零封し栄冠をつかんだ。

今年のチームの躍進は、FWの進化が大きい。57年前のチームもそうだった。「修猷が強い時はバックスと言われるが、あの時はFWが強かった。スクラムは西南大では相手にならず、九電と互角だった」と当時のフッカー米倉副将が振り返る。今年のFWの中心、左プロップ柴尾主将は、昨季までバックスだった。小柄なチーム事情もあっての転向に当初は戸惑ったが、今では体を張ってスクラムを組み、好フォローから再三、好機を広げ、文字通りチームを引っ張っている。柴尾主将は「最後は勝って春を終わりたいかったが、勝利への執念などを学んだ。



▲旧校舎が見下ろすグラウンドで練習する昭和32年のチーム

砂地のグラウンドは異様な熱気を帯びていた。5月24日。全九州高校大会福岡県予選準々決勝、東福岡戦の前日だった。準備運動の後、まず、ランパス5本。メンバーに試合前の調整という意識はなかった。FWとバックスが一緒になっての確認作業。熱くなり過ぎ、喧嘩も起きた。柴尾主将は「個性派ぞろいで、いろんな意見をまとめるのが難しい」という。

こんなチームが一度、結束すると凄まじいパワーを生む。19-19で折り返した東福岡戦。慌てた相手は後半、7選手を入れ替え、突き放そうと



▲柴尾将希主将

あそこで調子に乗るより、よかったのかもしれない」と次を見据えている。

▽全九州大会出場チーム(年度)
1948=s23(第1回)、1951=s26(第4回)、
1954=s29(第7回)、1957=s32(第10回)、
2000=h12(第53回)、2004=h16(第57回)、
2014=h26(第67回) 出場7回、優勝3度(第1回~第9回は兼全国大会予選、第10回~第14回は兼国体予選。太字は優勝)

新幹事長に伊佐氏

堀内90周年実行委員長

平成26年度 修猷館ラグビーOBクラブ定時総会議事録

6月14日(土) 17:00~18:00 修猷館高等学校 会議室

■平成25年度会計報告について

十時事務局会計(s57)より、収支決算の説明/特別収入として、斉藤先輩(s30)に寄付金をいただいたことへの御礼

/左座監査役(s41)より、決算監査報告

■平成26年度事業計画について

松尾事務局長(s46)より事業計画の説明/安部議長(s41)より全国大会出場を想定して、今後正月前後の事業計画を作るよう指示

■平成26年度会計予算について

十時事務局会計より、収支予算の説明/伊佐幹事(s50)より、初蹴り会の前年度決算額と今期予算額との差異に関して質問/事務局より、前年度新年会に学生(会費半額)の参加が多かったためとの説明/今後対応策を協議

■役員・幹事改選について

星野幹事長(s42)より、新人事案の説明/

・星野幹事長・渕本副幹事長(s52)・松尾事務局長退任

・新幹事長に伊佐幸雄君(s50)、新副幹事長に松本四王起(s53)と堀内恭彦君(s59・90周年事業実行委員長兼任)を推薦

・新事務局長に坂本弘君(s47)、監査役を2名体制とするために増本修一君(s62)を推薦

・新幹事に大庭欣二君(s60)、笠木順一君(h3)、調誠君(h4)、松岡幹君(h8)、段隆士朗君(h13)を推薦

/採決の結果、承認

■創部90周年事業について

堀内実行委員長より、概略の説明/主なポイント

・開催日時、平成27年4月29日(水・祝)・・・決定

・試合場所、平和台陸上競技場を軸に調整中/修猷館Gも含めて、中央区以西で検討の指示

・式典会場、3会場で検討中/試合場所との兼ね合いも考えて、実行委員長に一任

・寄付集め、目標額・特別会費500万円、1口1万円以上/趣意書を作成、ホームページ・会報で発信

■その他

・推薦会員として三島隆夫氏(s38)、東原潤一郎氏(s47)を幹事会で承認した旨を事務局長より報告

・今期の現役強化特別会計の中から、九州大会出場支援として15万円(交通費・宿泊費の一部)、

トレーニング器具購入費として30万円、計45万円の支援実行を事務局長より報告